

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策
専門科目	商法

以下の 2 題ともに解答しなさい。

問題 1. X 株式会社(取締役会設置会社)の取締役 Y は、取締役在職中より将来自己が会社を設立し X 会社と同種の事業をおこなうことを計画していたが、取締役退任前に、かつての部下であった A に Y と行動をともにするように勧誘し、その結果、A は Y の取締役退任と同時に X 株式会社を退職し、Y が新たに設立した Z 株式会社(代表取締役 Y)に就職した。この場合、X は Y に対して損害賠償請求ができるかについて検討しなさい。尚、X 会社・Z 会社ともにコンピュータソフト開発・販売会社であり、A は極めて優秀なソフト開発の専門家である。

問題 2. 会社が、経営陣に敵対的な株主に対し株主総会において議決権を行使させない意図・目的で、当該株主の所有する株式を買い取る為の資金を第三者に供与する行為は、違法な利益供与といえるか検討しなさい。